



学校だより

錦城の詩

平成24年(2012年)

4月27日(第2号)

明石市立錦城中学校

明日からゴールデンウィーク

校長 荒井 拓

あれだけ美しかった桜の花も潔く見事に散り、目にも鮮やかな新緑の美しい好季節となって参りました。新入生が入学し、早くも18日が経過し、子どもたちも徐々に新しい錦城生活に馴染んでくれているものと思っています。もちろん、個々に応じた見守りや配慮は必要と考えていますが、上級生ともども、全体的に良いスタートがきれたのではないかと考えております。

23日(月)には、中学校生活の大きな楽しみの一つであるクラブ活動の正式入部がありました。結果、

クラブ名	新入部員数	クラブ名	新入部員数
野球	7	吹奏楽	7
剣道	8	技術	4
男子ソフトテニス	16	家庭	6
女子ソフトテニス	8		
男子バレーボール	3		
女子バレーボール	4		

の新入部員を迎え、毎日の活動にも熱が入ってきました。良いムードです。ですが、緊張感から心身の疲れもあらわれる頃かもしれません。ゴールデンウィーク中は、家族揃っての時間が普段より取りやすいと思います。(GWなど関係なく、お仕事に多忙なご家庭もおありかと思いますが……)是非、子どもたちと共有できる時間をお過ごしください。やる気を大事にしながらも、ちょっと、一服も必要かと。

ところで、4月22日は本校の「創立記念日」でした。日曜日だったので、子どもたちと共に祝う時間は持てませんでした。少しだけ、右面に本校のことを記しておきます。

楽しいゴールデンウィークですが、大阪府茨木市での川遊び事故、京都府亀岡市での登校中の自動車事故など痛ましい事故が続発しております。ご家庭におかれましても、子どもたちの安全確保にご留意いただきますようお願いいたします。

学校名 明石市立 錦城(きんじょう) 中学校

○設立 昭和22年4月1日設置(明石市行政順1番目)

○開校式 昭和22年4月22日 初代校長 西口 槌太郎

○校名の由来

明石公園にある市のシンボルでもある「明石城」。明石城は、かつて「鶴の城」と称されていたが、後に、儒学者の片山兼山により「喜春(きはる・きしゆん)城」と命名されたといわれる。この頃、城の南側に面していた錦江湾にちなんで、「錦江(きんこう)城」という名で人々に親しまれていた。

この由緒ある上ノ丸の丘という地に立つ学校ということで、お城の名にちなみ「錦城」という校名になったものである。

○校章の由来

開校当時は、暫定的に明石小学校の校章をアレンジして(どのようなものであったか、資料無)使用していたが、昭和32年、創立10周年を記念して校歌・校章・校旗が制定された。校章の左右対称の様子は、波しぶきで大洋を意味しており、「雄大不変」「不撓不屈」の精神を象徴する。



○校歌の作詞・作曲

作詞者 竹中 郁(たけなか いく)

神戸生まれの詩人。絵画的な手法で、深い人生的思考をさりげなく表現している。

校歌一番は、陽光に恵まれた明石の素晴らしい環境で学べる幸せ

二番は、人間の生き方の理想を追求することの誓い

三番は、人生の目標を持ち、世界人としての教養と行動力に富む人にを謳いあげた軽やかで、優しく流れるような歌詞である。

作曲者 井上 武士(いのうえ たけし)

群馬県前橋市出身の作曲家。主に、唱歌・童謡の作曲に従事し、日本音楽史上に残る数々の作品を残す。

「うみ」「チューリップ」「ぞうさん」等々。

各地学校の校歌も多く作曲しており、秋田市立山王中学校、前橋市立元総社中学校、川崎市立臨海中学校など、小学校から高等学校まで数え切れない。